

# パルス分周器

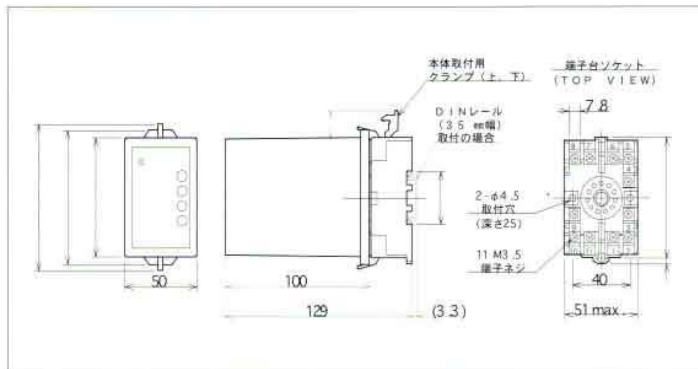
# PDM



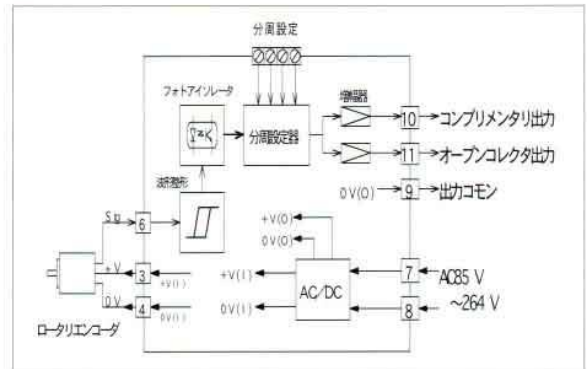
## ■型式の説明

型式	入力信号	出力信号	検出器電源
PDM-12E104FCA	電圧パルス	12F出力と24C出力の同時2出力	12V
PDM-12C104FCA	オープンコレクタ	12F出力と24C出力の同時2出力	12V

## ■外形図

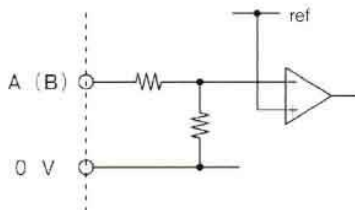


## ■ブロック図

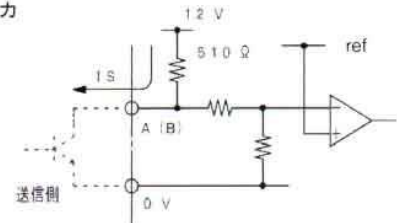


## ■入力回路

### ●電圧パルス入力

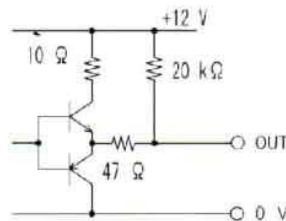


### ●オープンコレクタ入力

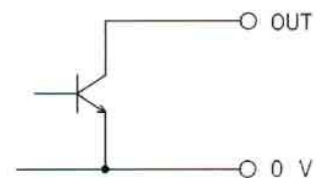


## ■出力回路

### ●コンプリメンタリ電圧出力

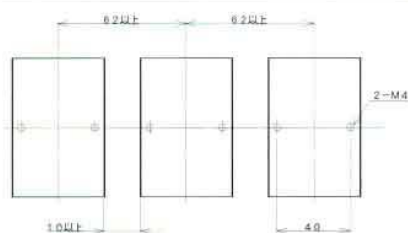


### ●オープンコレクタ出力

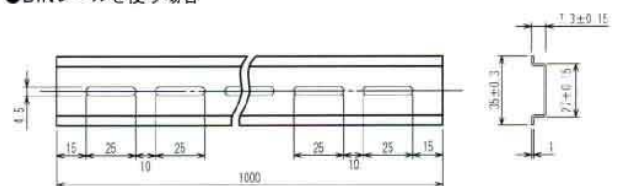


## ■取付

### ●直接取付



### ●DINレールを使う場合



## ■仕様

項目/型式	PDM-12E104FCA	PDM-12C104FCA
応答周波数	200kHz max (「H」 「L」パルス幅2.5 $\mu$ s、波形比1:1にて)	
入出力信号間の絶縁	フォトカプラにて絶縁	
入力抵抗	約10k $\Omega$	流入電流24mA (プルアップ510 $\Omega$ )
入力信号レベル	H=+5~+30V L=-5~+2V	L=+2V以下
分周設定範囲	1/2~1/9 999 10進4桁ロータリコードスイッチにて設定	
タイムチャート	例) 分周1/3設定の場合(出力「H」 「L」の波形比=1:1) 	
出力信号の種類	12F出力と24C出力の同時2出力	
入出力信号の遅れ時間	立上時間、立下時間共に 2.5 $\mu$ s以下 (負荷抵抗510 $\Omega$ 時)	
出力信号の立上時間、立下時間	12F出力: 立上時間、立下時間共に1 $\mu$ sec以下	
出力信号レベル	12F出力: H=9V以上 L=1.5V以下 (負荷抵抗510 $\Omega$ ) 24C出力: L=1V以下 (DC30V 25mA時)	
出力抵抗	12F出力: 75 $\Omega$ 最小負荷: 500 $\Omega$ 24C出力: 最大定格 DC30V 25mA	
検出器電源	DC12V $\pm$ 5% 120mA max	
供給電源	AC85~264V 50/60Hz 10VA max	
耐ノイズ	IEC801-4 LEVEL3 (電源ラインノイズ2000V/入出力信号線誘導ラインノイズ1000V)	
絶縁抵抗	DC500Vメガ 100M $\Omega$ 以上	
絶縁耐圧	AC2000Vにて1分間異常なきこと 供給電源端子一括-エンコーダ入力端子一括 供給電源端子一括-出力端子一括 AC500Vにて1分間異常なきこと エンコーダ入力端子一括-出力端子一括	
使用温度範囲	-10~+50 $^{\circ}$ C	
使用湿度範囲	35~85%RH (但し、結露なきこと)	
保存温度範囲	-10~+60 $^{\circ}$ C (但し、氷結なきこと)	
質量	約0.3kg (但し、付属ソケット含まず)	

## ■使用上の注意

- ・ 入出力信号の配線は、必ずツイストペアシールドケーブルを使用し、シールド線は本器設置の制御盤等のアースに接続して下さい。  
誤動作の原因になります。
- ・ 供給電源は、仕様電源範囲の電圧を良く確認の上、端子番号7,8に供給して下さい。範囲外の電圧を供給しますと、故障の恐れがあります。
- ・ 供給電源にサージやノイズが乗っている場合は、サージ吸収素子やノイズフィルタを本器の近くに設置し接続して下さい。
- ・ 接続は必ず端子結線図に従って結線を行って下さい。誤動作故障の原因になります。
- ・ 本装置をモータや溶接器等ノイズを多く発生させる機器や、動力線、多量の静電気が発生する機械等からは、できる限り離れた場所に設置して下さい。
- ・ 入出力信号の配線は電源ラインや他の高圧線と同一ダクト内の敷設や平行に配線を行わないで下さい。誤動作の原因になります。  
必ず別ルート又は30cm以上離して配線を行って下さい。
- ・ 本器付属のソケットの端子ネジ締め付けの際には、過度の締め付け(適正締め付けトルク0.92 N $\cdot$ m)をしないで下さい。
- ・ 結線終了後、間違いなく確実に結線されていること(ネジのゆるみや誤配線)を確認して下さい。

本製品の記載は予告なしに変更する場合がありますのでご了承ください。